

平成23年度雇用失業統計研究会（第2回）

会 議 次 第

平成23年7月15日（金）

総務省統計局6階特別会議室

1 開 会

2 議 事

平成24年就業構造基本調査の検討について

- (1) 調査事項について
- (2) 集計計画について
- (3) 標本設計及び結果の推計方法について

3 閉 会

<配布資料>

- 資料1 平成24年就業構造基本調査 調査事項の検討
—第1回検討会における意見とその対応について—
- 資料2 平成24年就業構造基本調査 調査票の変更点について（新旧対照表）
- 資料3 平成24年就業構造基本調査の集計計画について（案）
- 資料4 平成24年就業構造基本調査の標本設計及び結果の推計方法（案）

平成24年就業構造基本調査 調査事項の検討 —第1回研究会における意見とその対応について—

「教育(1)就学状況」

(研究会意見) 卒業時期について、具体的な卒業年次を訊く期間を、前職の離職時期と同様に1983年以後にしたほうがよい。

⇒卒業時期の区切りを変更し、「1982年以前」、「1983年以後」とする。

(研究会意見) 中途退学者について、迷うことなく回答できるよう、調査票上の説明の位置を検討すべき。

⇒「中途退学した人はその前の卒業した学校…」の説明文の位置を設問4(1)の場所に変更する。

「1週間の就業時間」

(研究会意見) 「65時間以上」の階級については、超長時間労働の分析に資するためにも、さらに2つに区分(例えば80時間以上)してはどうか。

⇒調査結果による「65時間以上」の分布が相当数になることから、さらに2つに区分する。区分は「75歳以上」で区切ることにする。

「年間収入」

(研究会意見) 「1000～1499万円」の階級は分布が大きいと思われるので、さらに2つに区分したほうがよいのではないか。

⇒「世帯全体の年間収入」と同様に、「1000～1249万円」、「1250～1499万円」の2区分に変更する。

「前職をやめた理由」

(研究会意見) 「人員整理・勸奨退職のため」と「会社倒産・事業所閉鎖のため」は労働経済学上、別の項目として整理すべきであり、選択肢を統合しないほうがよい。

⇒選択肢の統合をとりやめる。

「育児・介護の状況について」

(研究会意見) 育児の定義について、他調査等を参考に整理する必要がある。

⇒育児の定義については、育児休業制度に基づき定義を行い、別紙『E欄 育児・介護の状況について』に関する定義等のとおりとした。

(研究会意見) 育児の対象を「未就学児」としているのはなぜか。就学前後で大きな違いがなければ学童もふくめてよいのではないか。

⇒育児の対象は育児休業制度に基づき捉えることとし、未就学児とする。

(研究会意見) 育児・介護のための休業について、9月末1週間について訊くのはなぜか。過去1年間など、ある程度長いほうがよい。

⇒育児・介護休業取得の有無の期間を過去1年間について訊くように変更する。

(研究会意見) 育児・介護のための休業について、休業だけではなく、就業時間の短縮なども訊くべきではないか。制度と実態のどちらをとるか整理したほうがよい。

⇒育児休業制度、介護休業制度に基づいて捉えることとし、「短時間勤務」など取得の内容も訊くように変更する。

「東日本大震災の影響について」

(研究会意見) 「仕事を失った」には内定取り消しも含まれるのか。震災による被害の定義を調査票等に示さずに記入できるのか。

⇒内定取り消しも失職に含まれる。震災による被害の定義は、調査票の記入のしかた等に明記するようにする。

(研究会意見) 震災時の住居について、復興格差の分析の観点からも、都道府県だけではなく市町村まで訊いたほうがよい。

⇒震災時の住居を市町村まで訊くように変更する。

(研究会意見)「東日本大震災」はどこまで含めるのか。余震などもあり、どこまでとするか定義する必要がある。

⇒統一的で明確な定義は存在しないため、「平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震を中心とした一連の地震をいう」とする。

(研究会意見)母集団の推計はどうするのか。どう発表するのか。

⇒被災地域の母集団については、国勢調査の調査区データに、津波による水没地域、仮設住宅の建設地域などの付加情報を追加するによって捉える予定。結果の推定方法、公表時期・方法については、引き続き検討を行う。

(研究会意見)被災の定義に国の基準等はないのか。集計を考えると広めにとっておいたほうがよいと思われる。

⇒統一的で明確な定義は存在せず、直接的な被害のみを捉えることとする。

平成24年就業構造基本調査 調査票の変更点について(新旧対照表)

1 個人の属性に関する調査事項

(1) 教育

平成19年就業構造基本調査	平成24年就業構造基本調査(案)
<div data-bbox="112 510 1097 734"> <p>4 教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、学校に在学しているかどうかについて記入した上で、矢印に従って記入してください 「卒業」の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の学校)について記入してください 予備校などは、ここでいう学校には含めません </div> <div data-bbox="448 510 1097 734"> <p>在学中 卒業 在学したことがない</p> <p>○ ○ ○</p> <p>↓</p> <p>小学 高校 専門学校 短大 大学 大学院 中学 旧制中 旧制中 高専 大学 大学院</p> <p>○ ○ ○ ○ ○ ○</p> </div>	<div data-bbox="1142 510 2128 718"> <p>4 教育 (1) 就学状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、学校に在学しているかどうかについて記入してください 予備校などはここでいう学校には含めません 「卒業」の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の卒業した学校)について記入してください </div> <div data-bbox="1456 510 2128 718"> <p>卒業 在学中 在学したことがない</p> <p>○ ○ ○</p> <p>↓ ↓ ↓</p> <p>昭和57年(1982年)以前 昭和58年(1983年)以後 (2) 学校区分へ (5へ)</p> <p>昭 平 西 年 和 成 曆 年</p> </div> <div data-bbox="1142 718 2128 909"> <p>(2) 学校区分</p> <ul style="list-style-type: none"> 回答肢については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください <p>小学・中学 高校・旧制中 専門学校(修業年限) 1年以上未滿 2年以上未滿 4年以上未滿 短大・高専 大 大 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p> </div>
<p>(変更案)</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学状況が「卒業」である人について、新たに「卒業時期」を問う設問を追加する 学校区分の選択肢について、「専門学校」を修業年限別の3区分に細分化する <p>(変更理由)</p> <p>学卒時からの経過年数による就業状況を明らかにするため、卒業時期を追加する。「専門学校」については平成19年調査時に選択肢に追加したところであるが、定義を専修学校専門課程(修業年限2年以上のもの)としたため、現在の情勢では学校区分上の大学・大学院と同等にあたる修業年限4年以上のものも入り込んでしまう恐れがある。そこで、学校区分を正確に捉える観点から専門学校を就業年限により明確に区分することとする。</p>	

(3) 収入の種類

平成19年就業構造基本調査	平成24年就業構造基本調査(案)																																																												
<p>F 世帯の収入の種類</p> <p>・世帯全体の収入について記入してください</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>賃金</td> <td>事業収入 農業 その他の事業収入</td> <td>内職</td> <td>家賃</td> <td>利子</td> <td>年金</td> <td>雇用</td> <td>仕送</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>(おもなもの一つ)</td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>(その他該当するものすべて)</td> <td><input type="radio"/></td> </tr> </table>		賃金	事業収入 農業 その他の事業収入	内職	家賃	利子	年金	雇用	仕送	その他	(おもなもの一つ)	<input type="radio"/>	(その他該当するものすべて)	<input type="radio"/>	<p>6 収入の種類</p> <p>・だれの分かはっきりしないものは世帯主の分に含めて記入してください</p> <p>(おもなもの一つ) → <input type="radio"/></p> <p>(その他該当するものすべて) → <input type="radio"/></p> <table border="1"> <tr> <td>賞金・給料</td> <td>事業収入 (農業収入を含む)</td> <td>内職収入</td> <td>年金・恩給</td> <td>社会保障給付 雇用保険 その他の給付</td> <td>仕送り</td> <td>家賃・地代</td> <td>利子・配当</td> <td>その他</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> </tr> </table>	賞金・給料	事業収入 (農業収入を含む)	内職収入	年金・恩給	社会保障給付 雇用保険 その他の給付	仕送り	家賃・地代	利子・配当	その他	なし	<input type="radio"/>																																			
	賃金	事業収入 農業 その他の事業収入	内職	家賃	利子	年金	雇用	仕送	その他																																																				
(おもなもの一つ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																																				
(その他該当するものすべて)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																																				
賞金・給料	事業収入 (農業収入を含む)	内職収入	年金・恩給	社会保障給付 雇用保険 その他の給付	仕送り	家賃・地代	利子・配当	その他	なし																																																				
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																																				
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																																				

(変更案)

「収入の種類」を世帯全体の収入から世帯員ごとの収入を問う設問へ変更するとともに、選択肢についても変更する。

- ・「農業収入」、「その他の事業収入」→「事業収入(農業収入を含む)」
- ・「年金・恩給」、「雇用保険」を社会保障給付の内訳として明記し、「その他の給付」を追加する

(変更理由)

セーフティネットとしての社会保障給付について、失業者や高齢者など個人における受給状況を把握するため、設問を世帯から個人単位へ変更し、選択肢を見直す。

2 有業者についての調査事項

(1) 勤めか自営かの別等, 勤め先・業主などの経営組織・名称及び事業の内容, 本人の仕事の内容

平成19年就業構造基本調査		平成24年就業構造基本調査(案)	
<p>A 1 勤めか自営かの別等</p> <p>・「臨時雇」とは 雇用契約期間が1か月以上1年以内の人 「日雇」とは1か月未満の人をいいます</p> <p>A 1の2 勤め先における呼称</p> <p>・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく人をいいます ・パートの派遣店員 派遣警備員などは派遣元の事業所における呼称について記入してください</p> <p>A 1の3 自分で事業を起こしたのですか</p> <p>はい いいえ</p> <p>A 2 勤め先・業主などの経営組織・名称及び事業の内容</p> <p>(1) 経営組織</p> <p>・「官公庁など」の場合は部課名まで書いてください</p> <p>(2) 名称</p> <p>(3) 事業の内容</p> <p>A 3 本人の仕事の内容</p> <p>・『調査票の記入のしかた』を参考に詳しく書いてください</p>	<p>雇われている人のうち 常雇 臨時雇 日雇</p> <p>会社などの役員</p> <p>自営業主 雇人あり 雇人なし</p> <p>自営業の正伝い</p> <p>内職</p> <p>正規の従業員 パート アルバイト 労働者派遣の派遣社員 契約社員 嘱託 その他</p> <p>止規の従業員</p> <p>はい いいえ</p> <p>雇用契約期間の定めの有無及び1回当たりの雇用契約期間</p> <p>定めがない(定年までの雇用を含む) 1か月未満 1か月以上1年以下 1年以上3年以下 3年以上5年以下 その他</p> <p>わからない</p> <p>更新回数</p> <p>個人 会社 合同会社 株式会社 (有限会社を指す) 相対会社 官公庁など 法人・団体</p>	<p>A 1 勤めか自営かの別・勤め先における呼称</p> <p>・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく人をいいます ・パートの派遣店員 派遣警備員などは派遣元の事業所における呼称について記入してください</p> <p>A 1の2 自分で事業を起こしたのですか</p> <p>はい いいえ (A2へ)</p> <p>A 1の3 雇用契約期間の定めの有無及び1回当たりの雇用契約期間</p> <p>定めがない(定年までの雇用を含む) 1か月未満 1か月以上1年以下 1年以上3年以下 3年以上5年以下 その他</p> <p>わからない (A2へ)</p> <p>A 1の4 この仕事で雇用契約を更新したことがありますか</p> <p>ない ある 更新回数</p> <p>A 2 勤め先・業主などの経営組織・名称及び事業の内容</p> <p>(1) 経営組織</p> <p>・「官公庁など」の場合は部課名まで書いてください</p> <p>(2) 名称</p> <p>(3) 事業の内容</p> <p>A 3 本人の仕事の内容</p> <p>・『調査票の記入のしかた』を参考に詳しく書いてください。</p>	<p>雇われている人のうち 常雇 臨時雇 日雇</p> <p>会社などの役員</p> <p>自営業主 雇人あり 雇人なし</p> <p>自営業の手伝い</p> <p>内職</p> <p>正規の従業員 パート アルバイト 労働者派遣の派遣社員 契約社員 嘱託 その他</p> <p>はい いいえ</p> <p>雇用契約期間の定めの有無及び1回当たりの雇用契約期間</p> <p>定めがない(定年までの雇用を含む) 1か月未満 1か月以上1年以下 1年以上3年以下 3年以上5年以下 その他</p> <p>わからない</p> <p>更新回数</p> <p>個人 会社 合同会社 株式会社 (有限会社を指す) 相対会社 官公庁など 法人・団体</p>

(変更案)

- 勤めか自営かの別等において、雇われている人について「常雇」「臨時雇」「日雇」の別を削除し、勤め先における呼称のみ問うよう変更する
- 雇われている人について、新たに「雇用契約期間の定めの有無及び1回当たりの雇用契約期間」及び「雇用契約の更新の有無・更新回数」を追加

(変更理由)

有期雇用契約の実態把握については、「公的統計の整備に関する基本的な計画」(平成21年3月13日閣議決定)においても調査事項の改善について検討するよう指摘されているところであり、これに対応し、雇用契約期間の定めの有無、雇用契約期間を明確に把握できるようにするため。

(3)この仕事からの1年間の収入又は収益(税込み)

平成19年就業構造基本調査		平成24年就業構造基本調査(案)																																																			
<p>A6 この仕事からの1年間の収入又は収益(税込み)</p> <p>・この仕事について1年未満の人は1年間の見積額について記入してください</p> <p>・自営業の場合は 売上高から必要経費を差し引いた営業利益について記入してください</p>	<table border="1"> <tr> <td>収入 万円未満</td> <td>50 万円</td> <td>100 万円</td> <td>150 万円</td> <td>200 万円</td> <td>250 万円</td> <td>300 万円</td> <td>400 万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>599 万円</td> <td>699 万円</td> <td>799 万円</td> <td>899 万円</td> <td>999 万円</td> <td>1499 万円</td> <td>1500 万円以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> </table> <p>(第2面A7へ)</p>	収入 万円未満	50 万円	100 万円	150 万円	200 万円	250 万円	300 万円	400 万円		599 万円	699 万円	799 万円	899 万円	999 万円	1499 万円	1500 万円以上		<input type="radio"/>	<p>A6 この仕事からの1年間の収入又は収益(税込み)</p> <p>・この仕事について1年未満の人は1年間の見積額について記入してください</p> <p>・自営業の場合は 売上高から必要経費を差し引いた営業利益について記入してください</p>	<table border="1"> <tr> <td>収入 万円未満</td> <td>50 万円</td> <td>100 万円</td> <td>150 万円</td> <td>200 万円</td> <td>250 万円</td> <td>300 万円</td> <td>400 万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>599 万円</td> <td>699 万円</td> <td>799 万円</td> <td>899 万円</td> <td>999 万円</td> <td>1249 万円</td> <td>1499 万円</td> <td>1500 万円以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> </table>	収入 万円未満	50 万円	100 万円	150 万円	200 万円	250 万円	300 万円	400 万円		599 万円	699 万円	799 万円	899 万円	999 万円	1249 万円	1499 万円	1500 万円以上		<input type="radio"/>													
収入 万円未満	50 万円	100 万円	150 万円	200 万円	250 万円	300 万円	400 万円																																														
	599 万円	699 万円	799 万円	899 万円	999 万円	1499 万円	1500 万円以上																																														
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																														
収入 万円未満	50 万円	100 万円	150 万円	200 万円	250 万円	300 万円	400 万円																																														
	599 万円	699 万円	799 万円	899 万円	999 万円	1249 万円	1499 万円	1500 万円以上																																													
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																													

(変更案)

主な仕事からの1年間の収入について、選択肢の変更を行う。
 ・「1000～1499万円」を「1000～1249万円」、「1250～1499万円」に分割

(変更理由)

・所得(主な仕事からの収入・収益)階級について、高所得者階級をより詳細に把握するため。

(4)あなたは今後もこの仕事を続けますか、就業時間を増やしたいと思っていますか

平成19年就業構造基本調査		平成24年就業構造基本調査(案)		
おもな仕事について(続き)	A 7 あなたはこの仕事を今後も続けますか <small>・同じ会社で配置や勤務地を変わりたい場合は「この仕事を続けたい」とします</small>	この仕事を続けたい この仕事をほかに 別の仕事もしたい ほかの仕事に 変りたい やめてしまいたい 仕事をすっから	大正 ○ 昭和 ○ 平成 ○ 西暦 ○ 年 月	
	A 7の2 この仕事で就業時間を増やしたいと思っていますか	(A7の4へ) 今のままでよい 増やしたい 減らしたい	(A9へ) (A8の3へ) (A10へ)	
	A 7の3 どうしてほかの仕事に変わりたいのですか <small>(おもなものを一つにマーク)</small>	一時的に仕事を辞めたから 収入が足りない 事業不振や先行き不安 定年又は雇用契約の満了に備えて 時間的・肉体的に負担が大きい 知識や技能を生かしたい 余暇を増やしたい 家事的都合 その他	(A8の2) どうしてほかの仕事に変わりたいのですか <small>(おもなものを一つにマーク)</small>	一時的に仕事を辞めたから 収入が足りない 事業不振や先行き不安 定年又は雇用契約の満了に備えて 時間的・肉体的に負担が大きい 知識や技能を生かしたい 余暇を増やしたい 家事的都合 その他
	A 7の4 どのようなかたちで仕事をしたいのですか <small>(おもなものを一つにマーク)</small>	正規の職員・従業員 パート・バイト 労働者派遣 事業所の派遣社員 契約社員 自分で事業を起したい 家業を継ぎたい 内職 その他	(A8の3) どのようなかたちで仕事をしたいのですか <small>(おもなものを一つにマーク)</small>	正規の職員・従業員 パート・バイト 労働者派遣 事業所の派遣社員 契約社員 自分で事業を起したい 家業を継ぎたい 内職 その他
	A 7の5 仕事を探したり開業の準備をしていますか	探している 開業の準備をしている 何もしていない	(A8の4) 仕事を探したり開業の準備をしていますか	探している 開業の準備をしている 何もしていない
	A 8 この仕事にはいつついたのですか <small>・該当する元号又は西暦について記入した上で年及び月を書いてください</small>	大正 ○ 昭和 ○ 平成 ○ 西暦 ○ 年 月	A 9 現在より就業時間を増やしたいと思っていますか	今のままでよい 増やしたい 減らしたい

(変更案)
 ・「この仕事で就業時間を増やしたいと思っていますか」の設問文・位置の変更
 ・「この仕事にはいつついたのですか」の設問位置の変更
 (変更理由)
 就業時間の希望について、継続就業者だけではなく転職希望者や追加就業者についても捉えられるようにするため。

(5) どうしてこの仕事についてのですか

平成19年就業構造基本調査	平成24年就業構造基本調査(案)																						
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>A 9 どうしてこの仕事についてのですか (おもなもの一つにマーク)</p> <table border="0"> <tr> <td>失業していた</td> <td>学校を卒業した</td> <td>収入を得る必要が生じた</td> <td>知識や技能を</td> <td>生かしたかった</td> <td>社会に出たかった</td> <td>時間に余裕ができた</td> <td>健康を維持したい</td> <td>よりよい条件の</td> <td>仕事が見つかった</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> </tr> </table> </div>	失業していた	学校を卒業した	収入を得る必要が生じた	知識や技能を	生かしたかった	社会に出たかった	時間に余裕ができた	健康を維持したい	よりよい条件の	仕事が見つかった	その他	<input type="radio"/>	<p>【削除】</p>										
失業していた	学校を卒業した	収入を得る必要が生じた	知識や技能を	生かしたかった	社会に出たかった	時間に余裕ができた	健康を維持したい	よりよい条件の	仕事が見つかった	その他													
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>													

(変更案)
設問を削除する。
(変更理由)
報告者負担軽減の観点から。本項目は他の項目と比べた場合、優先度が低いと考え削除とする。

3 無業者についての調査事項

(1) どのような種類の仕事につきたいのですか

平成19年就業構造基本調査	平成24年就業構造基本調査(案)																																										
<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>B 3 どのような種類の仕事につきたいのですか (おもなもの一つにマーク)</p> <p>・回答肢については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください</p> <table border="0"> <tr> <td>製造・生産工程</td> <td>建設・労務</td> <td>運輸・通信職</td> <td>営業・販売職</td> <td>サービス職業</td> <td>専門的・技術的職業</td> <td>管理的職業</td> <td>事務職</td> <td>その他</td> <td>仕事の種類にこだわらない(保安職など)</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> </tr> </table> </div>	製造・生産工程	建設・労務	運輸・通信職	営業・販売職	サービス職業	専門的・技術的職業	管理的職業	事務職	その他	仕事の種類にこだわらない(保安職など)	<input type="radio"/>	<div style="border: 1px solid pink; padding: 5px;"> <p>B 3 どのような種類の仕事につきたいのですか (おもなもの一つにマーク)</p> <p>・回答肢については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください</p> <table border="0"> <tr> <td>製造・生産工程</td> <td>建設・採掘職</td> <td>輸送・機械運転職</td> <td>営業・販売職</td> <td>サービス職業</td> <td>専門的・技術的職業</td> <td>管理的職業</td> <td>事務職</td> <td>農林漁業職</td> <td>その他</td> <td>仕事の種類にこだわらない(保安職など)</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> </tr> </table> </div>	製造・生産工程	建設・採掘職	輸送・機械運転職	営業・販売職	サービス職業	専門的・技術的職業	管理的職業	事務職	農林漁業職	その他	仕事の種類にこだわらない(保安職など)	<input type="radio"/>																			
製造・生産工程	建設・労務	運輸・通信職	営業・販売職	サービス職業	専門的・技術的職業	管理的職業	事務職	その他	仕事の種類にこだわらない(保安職など)																																		
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																		
製造・生産工程	建設・採掘職	輸送・機械運転職	営業・販売職	サービス職業	専門的・技術的職業	管理的職業	事務職	農林漁業職	その他	仕事の種類にこだわらない(保安職など)																																	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																	

(変更案)
選択肢の変更を行う。
 ・「農林漁業職」を追加
 ・「製造・生産工程」→「製造・生産工程職」
 ・「建設・労務」→「建設・採掘職」
 ・「運輸・通信職」→「輸送・機械運転職」
 (変更理由)
 「新成長戦略」(平成22年6月閣議決定)において農林水産分野の成長産業化が掲げられており、潜在的な農林水産分野への就業希望者を把握するため、「農林漁業職」を追加するとともに日本標準職業分類の改定に伴い選択肢の見直しを行う。

(2) 仕事を探したり開業の準備をしたりしていないのはどうしてですか

平成19年就業構造基本調査	平成24年就業構造基本調査(案)
<p>B 6 仕事を探したり 開業の準備をしていないのはどうしてですか (おもなもの一つにマーク)</p> <p>探したが 希望する仕事が見つからなかった</p> <p>知識・能力に 自信がない</p> <p>病気・けがのため</p> <p>高齢のため</p> <p>育児や通学のため</p> <p>仕事続けられずに、育児や通学のため</p> <p>家族の介護・看護のため</p> <p>急いで仕事につく</p> <p>学校外で進学資格取得 必要がない</p> <p>その他</p> <p>(B 8へ)</p>	<p>B 6 仕事を探したり 開業の準備をしたりしていないのはどうしてですか (おもなもの一つにマーク)</p> <p>探したが 希望する仕事が見つからなかった</p> <p>知識・能力に 自信がない</p> <p>病気・けがのため</p> <p>高齢のため</p> <p>通学のため</p> <p>出産や育児のため</p> <p>家族の介護・看護のため</p> <p>急いで仕事につく 必要がない</p> <p>学校外で進学資格取得 必要がない</p> <p>その他</p> <p>(B 8へ)</p>

(変更案)
 選択肢の変更を行う。
 「育児や通学などのため仕事が続けられそうにない」→「通学のため」、「出産や育児のため」に分割
 (変更理由)
 ワークライフバランスの状況を的確に把握するため通学と育児を分離するとともに、「その他」等に含まれていた出産についても育児の一部として把握するため育児と連記する

(3) 収入になる仕事をしたいと思っていないのはどうしてですか

平成19年就業構造基本調査	平成24年就業構造基本調査(案)
<p>B 9 収入になる仕事をしたいと思っていないのはどうしてですか (おもなもの一つにマーク)</p> <p>育児のため</p> <p>家族の介護・看護のため</p> <p>家事(育児・介護・看護以外)のため</p> <p>通学のため</p> <p>病気・けがのため</p> <p>高齢のため</p> <p>学校外で進学や資格取得 などの勉強をしている</p> <p>ボランティア活動</p> <p>仕事をする自信がない</p> <p>その他</p> <p>特に理由はない</p> <p>(第2面B 10へ)</p>	<p>B 9 収入になる仕事をしたいと思っていないのはどうしてですか (おもなもの一つにマーク)</p> <p>出産や育児のため</p> <p>家族の介護・看護のため</p> <p>家事(出産・育児・介護・看護以外)のため</p> <p>介護・看護以外のため</p> <p>通学のため</p> <p>病気・けがのため</p> <p>高齢のため</p> <p>学校外で進学や資格取得 などの勉強をしている</p> <p>ボランティア活動</p> <p>仕事をする自信がない</p> <p>その他</p> <p>特に理由はない</p> <p>(第2面B 10へ)</p>

(変更案)
 選択肢の変更を行う。
 ・「育児のため」→「出産や育児のため」
 ・「家事(育児・介護・看護以外)のため」→「家事(出産・育児・介護・看護以外)のため」
 (変更理由)
 ワークライフバランスの状況を的確に把握する観点から、これまで「その他」等に含まれていた出産を理由とする非就業希望についても育児の一部として把握するため。

4 前職についての調査事項

(1) どうして前の仕事をやめたのですか

平成19年就業構造基本調査	平成24年就業構造基本調査(案)
<p>C2 どうして前の仕事をやめたのですか (おもなもの一つにマーク)</p> <p> <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/> 家族の介護・看護のため <input type="radio"/> 育児のため <input type="radio"/> 結婚のため <input type="radio"/> 病気・高齢のため <input type="radio"/> 雇用契約の満了のため <input type="radio"/> 定年のため <input type="radio"/> 又は事業所の移転のため <input type="radio"/> 家族の転職・転勤 <input type="radio"/> 自分に向かない仕事だった <input type="radio"/> 労働条件が悪かった <input type="radio"/> 収入が少なかった <input type="radio"/> 一時的にいた仕事だから <input type="radio"/> 事業不振や先行き不安 <input type="radio"/> 会社倒産・事業所閉鎖のため <input type="radio"/> 人員整理・勧奨退職のため </p>	<p>C3 どうして前の仕事をやめたのですか (おもなもの一つにマーク)</p> <p> <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/> 家族の介護・看護のため <input type="radio"/> 出産・育児のため <input type="radio"/> 結婚のため <input type="radio"/> 病気・高齢のため <input type="radio"/> 雇用契約の満了のため <input type="radio"/> 定年のため <input type="radio"/> 事業所移転のため <input type="radio"/> 家族の転職・転勤又は <input type="radio"/> 自分に向かない仕事だった <input type="radio"/> (収入が少なかったなど) <input type="radio"/> 労働条件が悪かったため <input type="radio"/> 一時的にいた仕事だから <input type="radio"/> 事業不振や先行き不安 <input type="radio"/> 会社倒産・事業所閉鎖のため <input type="radio"/> 人員整理・勧奨退職のため </p>

(変更案)

選択肢の変更を行う。

- ・「収入が少なかった」、「労働条件が悪かった」→「労働条件が悪かったため(収入が少なかったなど)」
- ・「育児のため」→「出産・育児のため」

(変更理由)

離職理由が細分化しすぎの傾向にあることから、可能な範囲で選択肢を統合し簡素化する。

ワークライフバランスの状況を的確に把握する観点から、これまで「その他」等に含まれていた出産を理由とする離職についても育児の一部として把握するため。

(2) 前の仕事の勤めか自営かの別等, 勤め先・業主などの事業の内容, 本人の仕事の内容

平成19年就業構造基本調査	平成24年就業構造基本調査(案)
<p>C3 前の仕事の勤めか自営かの別等</p> <p>・「臨時雇」とは、雇用契約期間が1か月以上1年以内の人、「日雇」とは1か月未満の人をいいます</p> <p>C3の2 勤め先における呼称</p> <p>・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは、労働者派遣法に基づく人をいいます</p> <p>・デパートの派遣店員、派遣警備員などは派遣元の事業所における呼称について記入してください</p> <p>C4 勤め先・業主などの事業の内容</p> <p>・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく書いてください</p> <p>C5 本人の仕事の内容</p> <p>・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく書いてください</p>	<p>C4 前の仕事の勤めか自営かの別・勤め先における呼称</p> <p>・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく人をいいます</p> <p>・デパートの派遣店員、派遣警備員などは派遣元の事業所における呼称について記入してください</p> <p>C5 勤め先・業主などの事業の内容</p> <p>・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく書いてください</p> <p>C6 本人の仕事の内容</p> <p>・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく書いてください</p>

(変更案)
勤めか自営かの別等において、雇われている人についての「常雇」「臨時雇」「日雇」の別を削除し、勤め先における呼称のみ問うよう変更する。

(変更理由)
「A1 勤めか自営かの別等」の変更に伴い、前職の勤めか自営かの別においても同様の見直しを行う。

(3) 勤め先・業主などの企業全体の従業者数

平成19年就業構造基本調査	平成24年就業構造基本調査(案)																								
<p>C6 勤め先・業主などの企業全体の従業者数</p> <p>・本社・支店・工場なども含めた従業者総数(パートなども含む)について記入してください</p> <table border="1"> <tr> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>5人</td> <td>10人</td> <td>20人</td> <td>30人</td> <td>50人</td> <td>100人</td> <td>300人</td> <td>500人</td> <td>1000人以上</td> <td>見当なし</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> </tr> </table>	1人	2人	5人	10人	20人	30人	50人	100人	300人	500人	1000人以上	見当なし	<input type="radio"/>	<p style="text-align: center;">【削除】</p>											
1人	2人	5人	10人	20人	30人	50人	100人	300人	500人	1000人以上	見当なし														
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>														

(変更案)
設問を削除する。

(変更理由)
報告者負担軽減の観点から。本項目は他の項目と比べた場合、優先度が低いと考え削除とする。

6 育児・介護の状況について

平成19年就業構造基本調査	平成24年就業構造基本調査(案)																																																										
<p>【新規】</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <h3 style="text-align: center; background-color: #cccccc;">E 育児・介護の状況について</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>E 1 ふだん育児をしていますか</p> <p>・ここでの育児は未就学児を対象とします ・ここでは孫や弟妹の世話などは育児には含みません ・育児の内容については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください</p> </td> <td style="width: 70%; text-align: center; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">育児を している</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">育児を していない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">(E 2へ)</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>E1の2 この1年間に育児休業などを取得しましたか (取得した場合はあてはまるものすべてにマーク) ・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含まれます</p> </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">した</td> <td style="text-align: center;">しなかった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">育児休業</td> <td style="text-align: center;">短時間勤務</td> <td style="text-align: center;">子の看護休暇</td> <td style="text-align: center;">その他</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>E 2 ふだん家族の介護をしていますか</p> <p>・自宅外にいる家族の介護も含まれます ・介護の内容については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください</p> </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">介護を している</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">介護を していない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">(F欄へ)</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>E2の2 この1年間に介護休業などを取得しましたか (取得した場合はあてはまるものすべてにマーク) ・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含まれます</p> </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">した</td> <td style="text-align: center;">しなかった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">介護休業</td> <td style="text-align: center;">短時間勤務</td> <td style="text-align: center;">介護休暇</td> <td style="text-align: center;">その他</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">(F欄へ)</td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </div>	<p>E 1 ふだん育児をしていますか</p> <p>・ここでの育児は未就学児を対象とします ・ここでは孫や弟妹の世話などは育児には含みません ・育児の内容については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">育児を している</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">育児を していない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">(E 2へ)</td> </tr> </table>	育児を している	育児を していない	↓	(E 2へ)	<p>E1の2 この1年間に育児休業などを取得しましたか (取得した場合はあてはまるものすべてにマーク) ・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含まれます</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">した</td> <td style="text-align: center;">しなかった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">育児休業</td> <td style="text-align: center;">短時間勤務</td> <td style="text-align: center;">子の看護休暇</td> <td style="text-align: center;">その他</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	した					しなかった	育児休業	短時間勤務	子の看護休暇	その他			○	○	○	○			<p>E 2 ふだん家族の介護をしていますか</p> <p>・自宅外にいる家族の介護も含まれます ・介護の内容については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">介護を している</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">介護を していない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">(F欄へ)</td> </tr> </table>	介護を している	介護を していない	↓	(F欄へ)	<p>E2の2 この1年間に介護休業などを取得しましたか (取得した場合はあてはまるものすべてにマーク) ・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含まれます</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">した</td> <td style="text-align: center;">しなかった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">介護休業</td> <td style="text-align: center;">短時間勤務</td> <td style="text-align: center;">介護休暇</td> <td style="text-align: center;">その他</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">(F欄へ)</td> </tr> </table>	した					しなかった	介護休業	短時間勤務	介護休暇	その他			○	○	○	○			(F欄へ)					
<p>E 1 ふだん育児をしていますか</p> <p>・ここでの育児は未就学児を対象とします ・ここでは孫や弟妹の世話などは育児には含みません ・育児の内容については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">育児を している</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">育児を していない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">(E 2へ)</td> </tr> </table>	育児を している	育児を していない	↓	(E 2へ)																																																						
育児を している	育児を していない																																																										
↓	(E 2へ)																																																										
<p>E1の2 この1年間に育児休業などを取得しましたか (取得した場合はあてはまるものすべてにマーク) ・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含まれます</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">した</td> <td style="text-align: center;">しなかった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">育児休業</td> <td style="text-align: center;">短時間勤務</td> <td style="text-align: center;">子の看護休暇</td> <td style="text-align: center;">その他</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	した					しなかった	育児休業	短時間勤務	子の看護休暇	その他			○	○	○	○																																										
した					しなかった																																																						
育児休業	短時間勤務	子の看護休暇	その他																																																								
○	○	○	○																																																								
<p>E 2 ふだん家族の介護をしていますか</p> <p>・自宅外にいる家族の介護も含まれます ・介護の内容については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">介護を している</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">介護を していない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">(F欄へ)</td> </tr> </table>	介護を している	介護を していない	↓	(F欄へ)																																																						
介護を している	介護を していない																																																										
↓	(F欄へ)																																																										
<p>E2の2 この1年間に介護休業などを取得しましたか (取得した場合はあてはまるものすべてにマーク) ・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含まれます</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">した</td> <td style="text-align: center;">しなかった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">介護休業</td> <td style="text-align: center;">短時間勤務</td> <td style="text-align: center;">介護休暇</td> <td style="text-align: center;">その他</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">(F欄へ)</td> </tr> </table>	した					しなかった	介護休業	短時間勤務	介護休暇	その他			○	○	○	○			(F欄へ)																																							
した					しなかった																																																						
介護休業	短時間勤務	介護休暇	その他																																																								
○	○	○	○																																																								
(F欄へ)																																																											
<p>(変更案) 「育児・介護の状況について」の設問を追加する。</p> <p>(変更理由) 少子高齢化等の進展に対応した統計の整備に対応し、就業と育児・介護との関係を詳細に捉える観点から、育児・介護の状況について新たに調査することとし、育児休業及び介護休業などを取得したかについては、調査前1年間の状態で捉えることとする。</p>																																																											

7 東日本大震災の影響について

平成19年就業構造基本調査	平成24年就業構造基本調査(案)
<p>【新規】</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">F 東日本大震災（原子力発電所事故を含む）の影響について</p> <p>F1 震災の直接の被害により 当時のおもな仕事に影響がありましたか</p> <p>・回答肢については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください</p> <p>直接の被害による影響はなかった <input type="checkbox"/> 直接の被害による影響があった <input type="checkbox"/></p> <p style="margin-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> 休職した (休業したをきむ) <input type="checkbox"/> 職を失った (事業の廃止を含む) <input type="checkbox"/> 休職したり職を失ったりはしなかった </p> <p style="text-align: right;">当時 仕事についていなかった <input type="checkbox"/></p> <hr/> <p>F2 震災により避難をしましたか</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 避難した <input type="checkbox"/> 避難しなかった </p> <p>F2の2 現在 避難していますか</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 現在 避難している <input type="checkbox"/> 現在 避難していない </p> <p style="margin-left: 40px;"> <input type="checkbox"/> 震災後に転居した <input type="checkbox"/> 震災前の住居に戻った </p> <p>F2の3 震災時にどこに住んでいましたか</p> <p>・東京都区部及び政令指定都市の区の間で移動した場合は「現在と同じ都道府県内の別の市区町村」とします</p> <p>・「現在とは別の都道府県」の場合は都道府県名及び市区町村名も書いてください</p> <p>・「現在と同じ都道府県内の別の市区町村」の場合は市区町村名も書いてください</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 現在と同じ市区町村 <input type="checkbox"/> 現在と同じ都道府県内の別の市区町村 <input type="checkbox"/> 現在とは別の都道府県 </p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 郡 <input type="checkbox"/> 区 <input type="checkbox"/> 町 <input type="checkbox"/> 村 </p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 都道府県 </p> </div> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">(世帯主はG欄へ その他の人は記入終わり)</p> </div>
<p>(変更案) 「東日本大震災の影響について」の設問を追加する。</p> <p>(変更理由) 震災被災者について被災状況を調査することにより、震災後の就業状況、震災による移動、就業異動の状況等を明らかにする。</p>	

平成24年就業構造基本調査の集計計画について（案）

1 集計の基本方針

平成24年就業構造基本調査においては、以下の観点に基づき集計を行う。

(1) 雇用情勢の変化を的確に捉える

- ① 少子高齢社会における雇用環境の把握
- ② ワークライフバランスの実態把握
- ③ 非正規就業の実態把握

(2) 地域別結果表章の充実

地域別の就業実態を的確に捉え、結果利用の促進を図る観点から、地域別主要結果表に「都道府県内ブロック別*」の表章を追加する。

* 全国消費実態調査及び全国物価統計調査で行っている「県内経済圏別」の結果表章と同様のものを想定。都道府県内ブロックの設定は各都道府県において行うこととするが、結果利用の際に消費・物価統計との関連が把握できることから、平成21年全国消費実態調査において用いたブロック設定を用いるか、あるいはそれを基にしたものとするのが望ましい。

(3) 東日本大震災が雇用に及ぼした影響を捉える

「東日本大震災の影響」に関する項目と就業状況のクロス集計を行うことにより、被災者について震災後の就業状況、震災による移動、就業異動の状況等を明らかにする。

2 集計表の主な追加・変更

(1) 教育に関する集計

クロス対象項目：男女、年齢、就業状態、雇用形態・従業上の地位、産業、職業、前職の有無、初職に就いた時期、初職に就いた年齢 等

(例) 男女×就業状態×学校区分×卒業からの経過年数×初職に就いた時期

(2) 常驻地移動に関する集計

クロス対象項目：男女、年齢、教育、就業状態、雇用形態・従業上の地位、産業、前職の有無 等

(例) 男女×年齢×転居の有無×居住開始時期×転居前の居住地

男女×居住開始時期×現在の居住地×転居の有無×転居前の居住地

男女×就業状態×転居理由×居住開始時期×転居前の居住地

男女×就業状態×現職の産業×前職の有無×前職の産業×転居前の居住地

男女×現在の居住地×居住開始時期×転居理由（過去5年間に転居した者）

(3) 雇用保険、失業給付等の受給状況に関する集計

クロス対象項目：男女、年齢、教育、世帯主との続き柄、配偶関係、就業状態、雇用形態・
従業上の地位、就業希望意識、就業希望の有無・求職活動の有無 等

(例) 男女×就業状態×世帯主との続き柄×配偶関係×収入の種類×就業希望意識（有業者）
男女×就業状態×世帯主との続き柄×配偶関係×収入の種類×就業希望の有無・求職
活動の有無（無業者）

(4) 雇用契約期間に関する集計

クロス対象項目：男女、年齢、教育、雇用形態・従業上の地位、産業、職業、従業者規模、
所得 等

(例) 男女×年齢×産業×雇用形態・従業上の地位×雇用契約期間の定めの有無・1回当た
りの雇用契約期間
男女×年齢×職業×雇用形態・従業上の地位×雇用契約期間の定めの有無・1回当た
りの雇用契約期間

(5) 育児・介護の状況に関する集計

クロス対象項目：男女、年齢、就業状態、雇用形態・従業上の地位、産業、職業、従業者
規模、希望する雇用形態、希望就業時間、前職の有無、前職の離職時期、
前職の離職理由 等

(例) 男女×年齢×就業状態×育児の有無
男女×年齢×雇用形態・従業上の地位×育児休業取得の有無
男女×年齢×就業状態×介護の有無
男女×年齢×雇用形態・従業上の地位×介護休業取得の有無

(6) 東日本大震災の影響に関する集計

クロス対象項目：男女、年齢、就業状態、雇用形態・従業上の地位、産業、職業、従業者
規模、希望する雇用形態、希望就業時間、前職の有無 等

(例) 男女×年齢×就業状態×震災による雇用への影響の有無
男女×年齢×就業状態×避難の有無・避難の状況

3 結果の公表

(1) 公表日：平成25年7月（予定）

※東日本大震災の影響に関する集計の公表時期については検討が必要

(2) 結果の提供方法

- ① 統計局ホームページ上に結果概要等を掲載
- ② 全統計表を e-Stat 上で提供
- ③ 主要な統計表を掲載した報告書の刊行

平成24年就業構造基本調査 集計体系（案）

集計区分	表章地域	報告書
<p>全国結果</p> <p>1 人口分布による就業構造基本表 (1) 15歳以上人口に関する表 (2) 就業・不就業の状態に関する表 ① 有業者の就業状況に関する表 ② 有業者の就業希望に関する表 ③ 無業者の就業状況に関する表 ④ 無業者の就業希望に関する表 (3) 就業異動に関する表 (4) 常住地移動に関する表 (5) 職業訓練・自己啓発に関する表 <u>(6) 育児・介護に関する表</u> (7) 平成19年調査結果比較に関する表</p> <p>2 世帯分布による就業構造表</p> <p><u>3 東日本大震災の影響に関する表</u> (1) 震災後の就業状況に関する表 (2) 震災による住居移動に関する表 (3) 震災による就業異動に関する表</p>	<p>・全国</p>	<p>・全国編</p>
<p>地域別結果</p> <p>地域編(都道府県, 政令指定都市ごとに統計表を作成)</p> <p>1 人口分布による就業構造基本表 (1) 15歳以上人口に関する表 (2) 就業・不就業の状態に関する表 ① 有業者の就業状況に関する表 ② 有業者の就業希望に関する表 ③ 無業者の就業希望に関する表 (3) 就業異動に関する表 (4) 常住地移動に関する表 (5) 職業訓練・自己啓発に関する表 <u>(6) 育児・介護に関する表</u> (7) 平成19年調査結果比較に関する表</p> <p>2 世帯分布による就業構造表</p> <p><u>3 東日本大震災の影響に関する表</u> (1) 震災後の就業状況に関する表 (2) 震災による住居移動に関する表 (3) 震災による就業異動に関する表</p>	<p>・全国 ・都道府県 ・政令指定都市</p>	<p>・都道府県編 I ・都道府県編 II ・政令指定都市編</p>
<p>地域別一覧 (都道府県, 県庁所在都市, 人口30万以上の市の結果を一覧で作成)</p> <p>※ 地域編と同区分 (平成19年調査結果比較に関する表を除く)</p>	<p>・全国 ・都道府県 ・政令指定都市 ・人口30万以上の市 <u>・都道府県内ブロック</u></p>	<p>・地域別主要結果編</p>

平成24年就業構造基本調査の標本設計及び結果の推計方法（案）

1 標本設計

(1) 標本設計の基本方針

平成24年就業構造基本調査における標本設計の基本的な考え方は前回（平成19年）調査までの考え方に準ずることとし、就業構造の詳細な結果を提供するため、前回並みの結果精度を得ることを目標に標本設計を行うものとする。

母集団である国勢調査の結果をみると、世帯規模は年々縮小する傾向にあり、一世帯当たり世帯人員の減少が続いていることを考慮し、前回並みの結果精度を得るため、世帯人員の減少に見合う分の調査世帯数及び調査区数を増加することとする。

表1 国勢調査における人口と世帯数の推移

調査年	15歳以上 人口(千人)	世帯数 (千世帯)	1世帯当たり 15歳以上人口(人)
平成2年	100,799	41,036	2.46
平成7年	105,426	44,108	2.39
平成12年	108,225	47,063	2.30
平成17年	109,764	49,566	2.21
平成22年	111,409	51,952	2.14

(2) 抽出単位

第1次抽出単位は平成22年国勢調査調査区（以下「調査区」という。）、第2次抽出単位は調査区内の「住戸」とする。調査対象は、第2次抽出単位の住戸に居住する15歳以上の世帯人員とする。

(3) 標本の大きさ

第1、2次抽出単位及び調査対象の標本数は表2のとおりである。

表2 就業構造基本調査における標本数の推移

	平成24年調査	平成19年調査
第1次抽出単位：調査区	約32,000	30,361
第2次抽出単位：住戸	約480,000	455,415
調査対象：15歳以上世帯人員	約1,020,000	1,015,575

(4) 調査区の配分

第1次抽出単位である調査区は、都道府県ごとの15歳以上人口に比例して配分する。

ただし、結果精度維持のため、都道府県や都道府県庁所在市などの単位での最低配分数を確保した上で、都道府県間での配分数を調整する。

(5) 標本抽出の方法

標本の抽出は、第1次抽出単位である調査区と第2次抽出単位である住戸をそれぞれ層化した上で行う。

① 標本調査区の抽出（第1次抽出）

ア 標本調査区は、次のものを除く全国の調査区の中から抽出する。

- i. 山岳・森林・原野地帯等のある区域
- ii. 刑務所・拘置所等のある区域
- iii. 自衛隊区域
- iv. 駐留軍区域
- v. 水面調査区

イ 各調査区について、国勢調査の結果等に基づく特性により、次の8層に分類する。（ただし、東日本大震災の津波による被害等により調査不能な調査区を除く。）

層1：人口が0の調査区	層5：給与住宅のある調査区
層2：世帯数が15以下の調査区	層6：漁業の就業者の多い調査区
層3：学生の寮・寄宿舍のある調査区	層7：仮設住宅のある調査区 ^{注)}
層4：病院・療養所及び社会施設のある調査区	層8：上記以外の調査区

注) 東日本大震災による住居の移転等を考慮した追加層

ウ 層ごとに調査区を、都道府県番号>市区町村コード（標本抽出時）>国勢調査の結果等に基づく特性（層8のみ）>市区町村コード（国勢調査時）>調査区番号の順に配列する。

(ア) 層1～7

都道府県ごとに各層の全調査区の15歳以上人口を累積し、累積した15歳以上人口に対して確率比例系統抽出により標本調査区を抽出する。

(イ) 層8

あらかじめ市区町村ごとに標本調査区数を割り振った後、市区町村ごとに全調査区の15歳以上人口を累積し、累積した15歳以上人口に対して確率比例系統抽出により標本調査区を抽出する。

なお、市町村ごとの標本調査区数の割り振りは、調査員の配慮など実務上の観点から各市町村の15歳以上人口を基に行うものである。

② 住戸の抽出（第2次抽出）

ア 標本調査区ごとに、調査区に含まれるすべての住戸を確認し、「居住者無」、「居住者有」の順に配列する。

イ アの配列を基に、標本調査区ごとに、抽出起番号を1とし、抽出間隔を「居住者有」の住戸数を15で除し小数点以下を切り上げた値として、等確率系統抽出法により住戸を抽出する。

ウ 抽出された「居住者有」の住戸数が15未満の場合は、最初に抽出された「居住者有」の住戸の次の住戸以降の配列について、抽出住戸数が15になるまでイと同様に再度抽出を行う。

2 結果の推定方法

(1) 結果推定の基本方針

結果推定の基本的な考え方は前回調査までの考え方に準ずることとし、線型推定及び比推定により行う。

線型推定及び比推定に用いる乗率は、標本抽出の際に用いた層のほか、地域、男女、年齢階級、世帯の種類の種類ごとに算出する。

都道府県内ブロック別表章を新たに導入することに伴い、比推定の地域区分に「都道府県内ブロック」の区分を追加する。

表3 平成24年調査における結果の推定方法(案)

区分	区分数	表章地域			
		全国及び都道府県	県庁所在都市及び人口30万以上の市	都道府県内ブロック	
線型推定	層	6	標本抽出時に調査区の種類に用いた合併後層符号1～8のうち、1及び2を8に統合した集計用の層符号とする。 (参考)合併後層符号 層1：無人調査区 層5：給与住宅 層2：一般世帯数15以下 層6：漁業 層3：学生寮 層7：仮設住宅 層4：病院・社会施設 層8：その他		
	地域	約1,900	層3～7： 都道府県(47) 層8： 市町村(約1,900)	層3～8：市町村(約1,900)	
	標本調査区	約32,000	抽出した調査区(層6～8のとき) 抽出した標本単位区(層3～5のとき)		
	居住者の有無	2	居住者有, 居住者無 ※ 準備調査時の調査区内の居住者の有無とする。		
比推定	地域	※都道府県ごとに異なる	都道府県庁所在都市(47), 政令指定都市(4), 都道府県内ブロック(都道府県ごとに異なる)		
	男女	2	男, 女		
	年齢階級	15	15～19歳, 20～24歳, 25～29歳, 30～34歳, 35～39歳, 40～44歳, 45～49歳, 50～54歳, 55～59歳, 60～64歳, 65～69歳, 70～74歳, 75～79歳, 80～84歳, 85歳以上		
	世帯の種類	2	単身者世帯, 非単身者世帯		

(2) 基準人口

推計に用いる基準人口(ベンチマーク)は、次に示す数値を用いて推計した平成24年10月1日現在の人口を用いる。

- i. 平成22年国勢調査結果(総務省)
- ii. 平成24年10月1日現在推計人口(総務省)
- iii. 平成24年10月1日現在推計人口(各都道府県、県庁所在市、政令指定都市、人口30万以上の市)
- iv. 住民基本台帳人口移動報告(総務省)
- v. 自衛隊の営舎内又は艦船内の居住者数(防衛省)
- vi. 刑務所、拘置所の被収容者のうち刑の確定している者及び少年院の在院者数(法務省)